

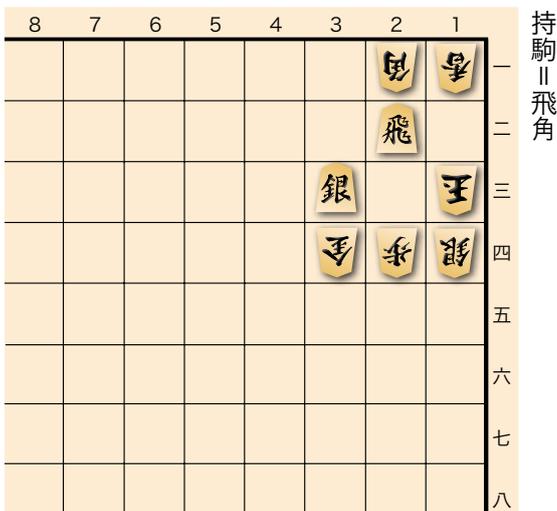
# 次の一手

## 答え合わせ

〈第19局〉

### 詰将棋 問題 7手詰 (5分で3級)

**ヒント** 飛車は捨て駒



〈監修〉中田功八段

### 詰将棋 答え

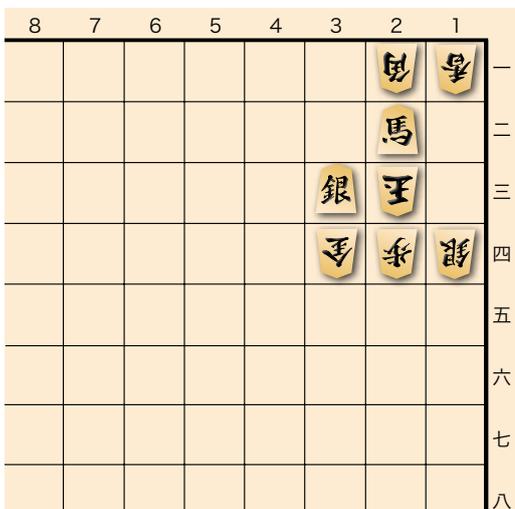
▲1 二飛成▽同玉 ▲1 三飛▽同玉 ▲3 一角  
▽2 三玉・1 二玉 ▲2 二角成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

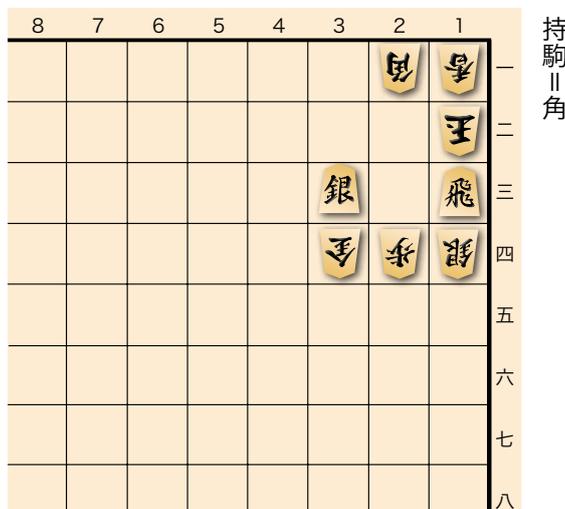
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。  
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



### 詰め上がり図 (図は6手目2三玉)



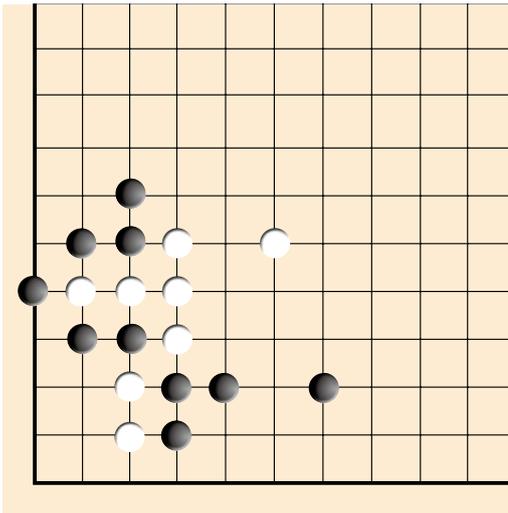
### 途中図 (1三飛まで)



(解説) 原図で2 二飛がなければ▲3 一角で詰む。  
▲1 二飛成からその形を実現させる

## 詰碁 問題 白先白活 (5分で初段)

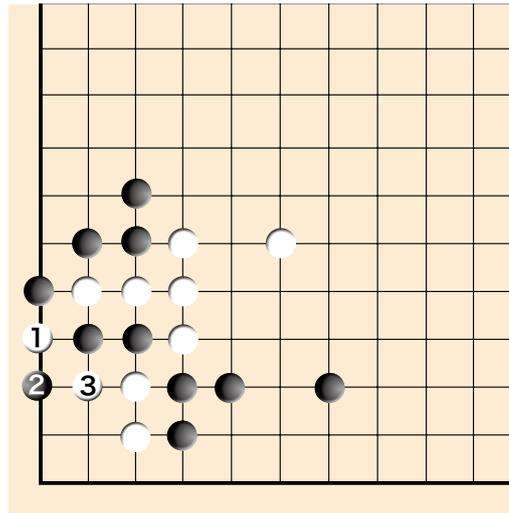
**ヒント** 隅の白二子に、活きる手段があります。初手の工夫が肝心



〈監修〉大淵盛人九段

## 詰碁 正解図①

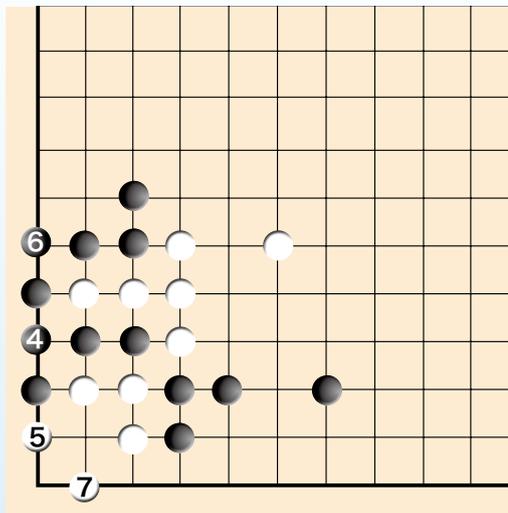
白1は小さな魔法



単にアタリでは黒にツガれて活きるスペースが足りません。思い切った捨石、白1です。黒2に白3とアテ

## 詰碁 正解図②

きれいな二眼が出来上がり



黒4ツギに白5とアテ、黒6も仕方なく、白7で完全に活着しているのをお確かめください。一見簡単そうですが、白1が実戦で打てたら相当な実力者といえましょう。

大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

